

平成 18 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 酒井龍一

最終学歴	関西外国語大学英米語学科
取得学位	学士
所属学会	日本考古学協会 日本情報考古学会 日本文化財科学会
現在の専門分野	考古学(学部)・国際文化財史科学(大学院)
研究課題	聖徳太子の都市計画 弥生社会の研究 セム語碑文(パルミラ等)の研究

【研究上の特記事項】

「聖徳太子の都市計画」を復元すべく「斑鳩の里」の踏査に専念。復元骨子を作成し妥当性を検証中。科研関係では、弥生研究は、大阪電気通信大学 加藤常員助教授(代表)、古墳研究では、奈良大学 白石太一郎教授(代表)の研究に参加。古代語では、各種碑文等(フェニキア・線文字B・マヤ・等々)を講読中(パソコンで文字を作成 紙面に生文字表記 講読)。

【教育上の特記事項】

演習では「ポスターセッション方式」での発表を指導。各学生は研究テーマに関する『個人雑誌』を刊行。全授業のレポートも「雑誌形式」で提出。社会人用の訓練を実施。古代言語関係では、学生・院生とも「10言語・文字」程度の実践的講読を実施。考古学関係では、大型地図・航空写真・現地踏査を組み合わせた研究(セトルメント・アーケオロジー)を指導。研究室を開放。個人面談重視。

【社会的活動】

(委員関係)大阪府デジタル文化都市創造会議委員・国史跡鳥取県妻木晩田遺跡調査委員会副委員長・猪名川町文化財審議委員会副委員長・多田銀銅山遺跡調査委員会委員長・日本情報考古学会監事・日本文化財科学会。(講演・講座等)大阪府立弥生文化博物館・斑鳩町歴史教室・斑鳩町の歴史を知る会・中日新聞社中日文化センター・山の辺文化会議・守口市公民館・千早赤坂。(高校現地授業)斑鳩高校。

【学内活動】(学内職歴を含む)

文化財学科海外研究引率(トルコ)・考古学研究室研修引率(鳥取県)・高校生向けミニ講座(広報室主催)・世界遺産公開講座講演・漫画研究会顧問・通信教育スクーリング担当(文化財歴史学科)。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 「聖徳太子の都市計画」	単	2006年3月	『文化財学報 23 - 24 集』奈良大学文化財学科	聖徳太子が斑鳩の里に「私的佛教教学都市」を設定。遺跡・街道・地割り等から復元。1 - 11頁
「弥生世界の北部九州と近畿中部」	単	2006年10月	『弥生人躍動す』大阪府立弥生文化博物館	弥生時代の年代観や世界観など、近年の実情や認識を示した。74 - 77頁
「タブニト碑文」	単	2007年3月	『平成18年度 奈良大学文化財学科海外研修報告』同学科	イスタンブール考古博蔵のフェニキア碑文